

平成30年4月23日
福岡県糟屋郡新宮町
九州地方整備局福岡国道事務所

かすや しんぐうまちみどり が はま
福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜地区にハンプを設置しました
～生活道路の安全対策に向けて～

かすや しんぐうまちみどり が はま
福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜地区における生活道路の安全対策に向けて、「可搬型ハンプ」を設置し、その効果や周辺環境への影響を把握するために実証実験を実施し、検証を行ったところ、速度減少効果が確認されたので、今回、恒久対策としてハンプを設置しましたのでお知らせします。

新宮町では、平成27年9月に「新宮町通学路交通安全プログラム」を策定し、通学路における危険な箇所の点検と対策を行ってきたところです。今回、対策を実施した緑ヶ浜地区は、国道495号の混雑を避けようと、通学路となっている生活道路に自動車が通過している状況でした。

平成28年度に、国土交通省が保有するETC2.0プローブデータを活用して、ヒヤリ・ハット（急減速）発生箇所や通過車両の速度分析を行い、関係者（PTA、警察、道路管理者等）による通学路合同点検、通学路安全推進会議において対策案を検討し、可搬型ハンプによる実証実験を実施しました。実験の結果、通過車両の速度抑制効果が期待できることが確認できました。

実験結果を踏まえ、平成30年3月23日に恒久的なハンプを設置しました。

このハンプ設置により、緑ヶ浜地区の生活道路における安全性が高まることが期待されます。

■ハンプとは？

道路の一部を盛り上げた凸状の緩やかな段差を設けることにより、運転者に対し減速を促す道路構造のことです。



設置するハンプの構造

傾斜した部分 2m 平たんな部分 2m 傾斜した部分 2m



騒音や振動がほとんど発生しない曲線を用いています。

【問い合わせ先】

福岡県糟屋郡新宮町 都市整備課

課長補佐

いしまる ひろし
石丸 洋

電話：092-962-0231（代表）

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

技術副所長

よこやま ひろし
横山 浩

電話：092-681-4731（代表）

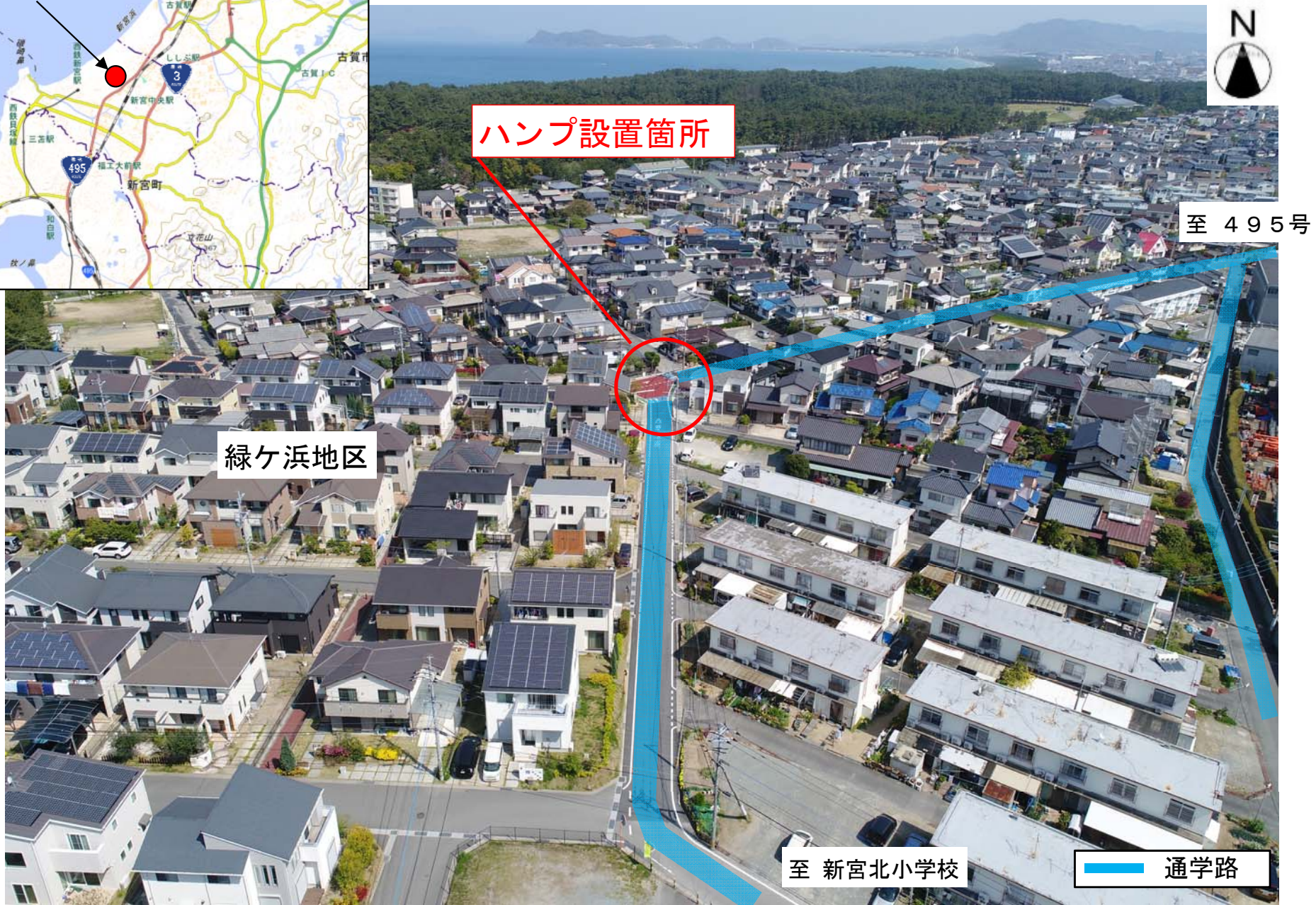
交通対策課長

ふじき あつし
藤木 厚志

電話：092-682-7757（直通）

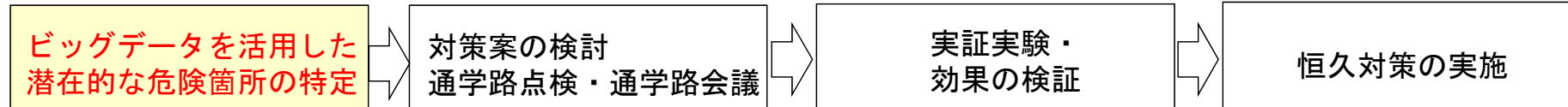
■新宮町緑ヶ浜地区の生活道路対策

1) 新宮町緑ヶ浜地区の位置



■新宮町緑ヶ浜地区の生活道路対策

◇生活道路対策の流れ



2) ETC2.0プローブデータを用いた分析結果

【ヒヤリ・ハット（急減速）発生箇所】

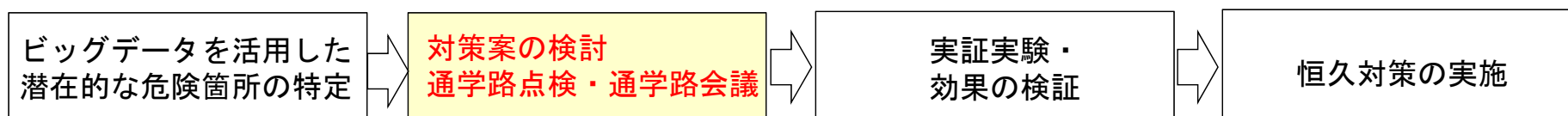


【地区内走行車両の走行速度】



■ 新宮町緑ヶ浜地区の生活道路対策

◇ 生活道路対策の流れ



3) 関係者（PTA、警察、道路管理者等）による通学路合同点検（H28年6月11日実施）



▲ 通学路合同点検の状況

■新宮町緑ヶ浜地区の生活道路対策

◇生活道路対策の流れ

ビッグデータを活用した
潜在的な危険箇所の特定

対策案の検討
通学路点検・通学路会議

実証実験・
効果の検証

恒久対策の実施

4) 実証実験（可搬型ハンプ設置）の実施（H28年10月24日～12月6日）

実験前



実験中



■新宮町緑ヶ浜地区の生活道路対策

◇生活道路対策の流れ

ビッグデータを活用した
潜在的な危険箇所の特定

対策案の検討
通学路点検・通学路会議

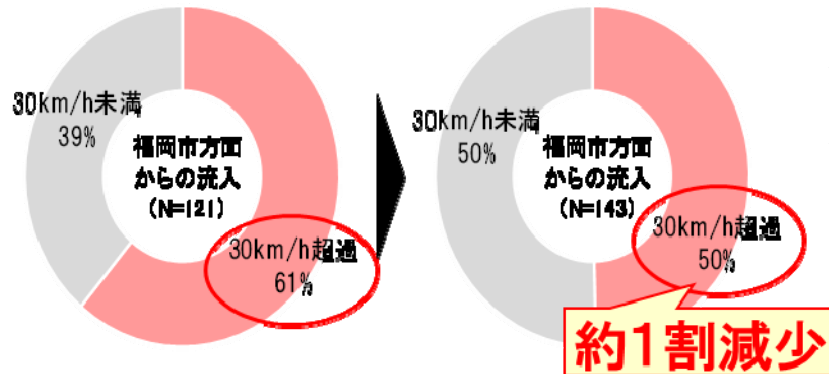
実証実験・
効果の検証

恒久対策の実施

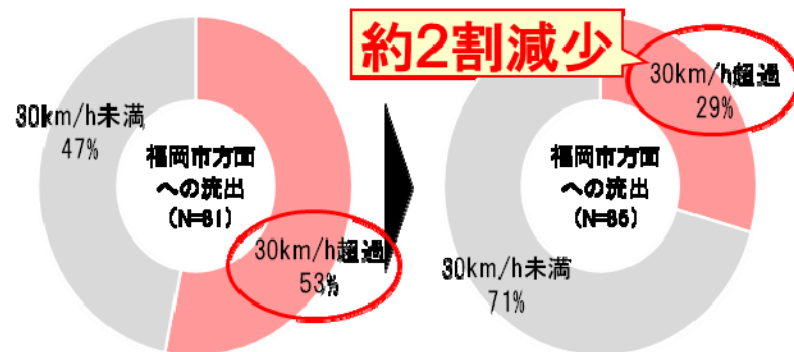
5) 効果の検証：可搬型ハンプ設置後、調査区間での30km/h超過車両は1～2割減少

■A-E区間の30km/h超過車両の割合

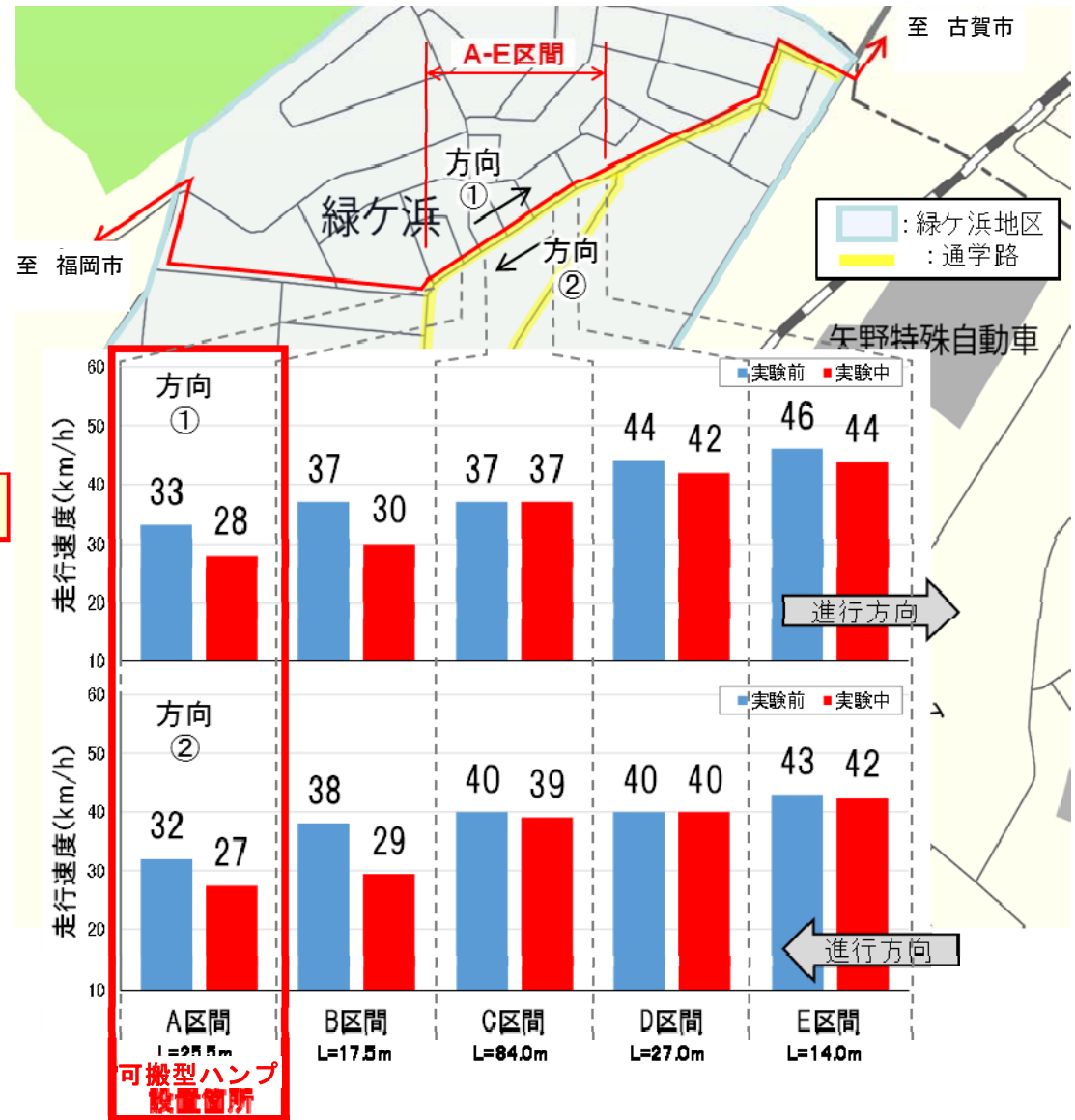
【方向①】福岡市方面からの流入



【方向②】福岡市方面への流出



資料：実験前はH28.7.1（7-9時）、実験中はH28.10.31（7-9時）
※走行速度は、単独走行の車両又は車群の先頭車両を対象に計測



■新宮町緑ヶ浜地区の生活道路対策

◇生活道路対策の流れ

ビッグデータを活用した
潜在的な危険箇所の特定

対策案の検討
通学路点検・通学路会議

実証実験・
効果の検証

恒久対策の実施

6) 恒久対策の実施（ハンプ設置）

○対象路線の交差点部のハンプを設置（H30年3月23日完成）

